

やっと会えたね！ 生徒12名、総勢29名が参加

トンプソン中学校と3年ぶりのオンライン交流

今年度の青少年交流促進事業は、「スカイプ・キャンプ」から「オンライン交流会」と名称を変え、**令和4年10月21日（金）午後10時～11時（パサテナ時間午前8時～9時）**に、秦野市役所本庁舎の講堂にて開催しました。

事前研修 2回で準備万端！

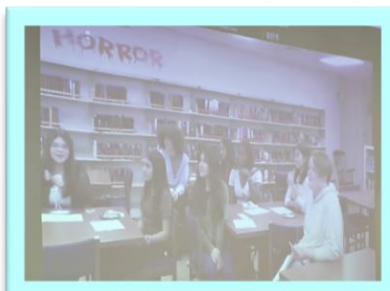
中学校の様子を撮影して紹介に使うグループ、秦野市や中学校のことをクイズ形式で用意するグループなど、準備に余念がなく、参加を予定していた生徒も関係者もみな当日を心待ちにしていました。

事前研修は渋沢中学校で2回、放課後の時間帯で実施。当日もお世話になった講師の青木アイリーン先生をはじめ、各中学校の先生方、当友好協会会員の支援を得ながら準備を行いました。



ただ今、アイデア捻出中！

本番当日 お寿司やお菓子も登場！



大きな画面の交流は、双方のクラス訪問の疑似体験！ いつかは実体験の日が！



参加者の感想

こうやって外国の人と話す、秦野市の姉妹都市であるパサテナ市のことを知る良いきっかけになったので、参加して良かったなと思いました。

当日は渋沢中学校の姉妹校であるトンプソン中学校のカウンセラー、プルデンシオ・レイナさん立ち会いのもと、オンライン会議システムを通じて交流。つながるまでドキドキでした。本市からは渋沢中学校の生徒12名に加え、同中学校の安藤校長、教職員、卒業生、当友好協会会員と事務局員等、29名が参加し、生徒保護者らが見守る中、スタート！

オンライン交流会が始まると、自分たちの英語が伝わるのか不安を抱えつつも、準備してきた英語で積極的に交流を行いました。大好きなお寿司をカメラの前で口に運んだり、お気に入りのお菓子を並べたり、マンガあり、イラストあり、クイズありの楽しい時間となり、どんどん緊張がとけていくのが分かりました。かつての経験者である卒業生も参加し、現役生をリード！ 渋沢中学校生徒の言葉にトンプソン中学校生徒が盛り上がる場面もあり、次回へつながる交流ができた、あっという間の1時間でした。



本番が始まるギリギリまで先生方のアドバイスを真剣に受けながら、一生懸命最終調整をしていた生徒さんたちの姿が忘れられません。オンライン交流会をやり遂げた彼らの笑顔がとても頼もしく見えました。（河口博子）

（担当）
名古屋まゆみ